

第36回はばたきアーチェリー大会申合せ事項

- 1 4分6本→矢取りの順序にて行う。
練習は2回行う。
各部門ともリカーブは80cm標的面、コンパウンドは6リング標的面を使用する。
ただし、10m、18mについては80cm標的面で統一する。
①②③④⑤部門については、72射で行う。
⑥、⑦部門については、36射のみで行う。

- 2 何らかのトラブルで行射が中断されたときは、トラブル解消後、1射につき40秒間を与え、再開する。
ただし、弓具故障の対応時間は最大5分間とする。

- 3 行射終了後はスコープを覗くなどはせずに、速やかにシューティングラインから離れること。

- 4 行射に際して介助者が必要な場合は、各自で手配すること。

- 5 時間管理は、電光掲示及びブザーによって行う。

- 6 スコアカード提出時は、必要事項をもれなく記入し、集計チェックを行ってから提出すること。

- 7 競技中に中止の判断が下された場合は、その時点の合計点数を参考記録として、順位づけを行う。

- 8 雷の音、または光を1回以上確認した際、プレーを中断しその時点で大会は終了し、試合進行中の場合は、項目7の通り順位を決定する。

- 9 その他、競技進行に関しては審判長の注意・指示に従うこと。